

手を取りあって ごみを減らそう！

数字でわかる！

ごみ減の活動と実績

(平成30年8月現在)

京都市ごみ減量推進会議



2R活動



事業者 市民 行政



もっぺん



フリーマ



講習会



地域ごみ減



High
Moon

🔍 ごみ減

検索

で検索できます

この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ！

手を取りあって ごみを減らそう！

なぜ、ごみを減らすのか？

ごみは、最初からごみだったわけではなく、すべてあらゆる商品や製品でした。

「ごみを捨てる」ことは、まさに私たちが使ってきた

「商品や製品を捨てる」ということです。

いま、私たちはその意味をもう一度、考えなければいけません。

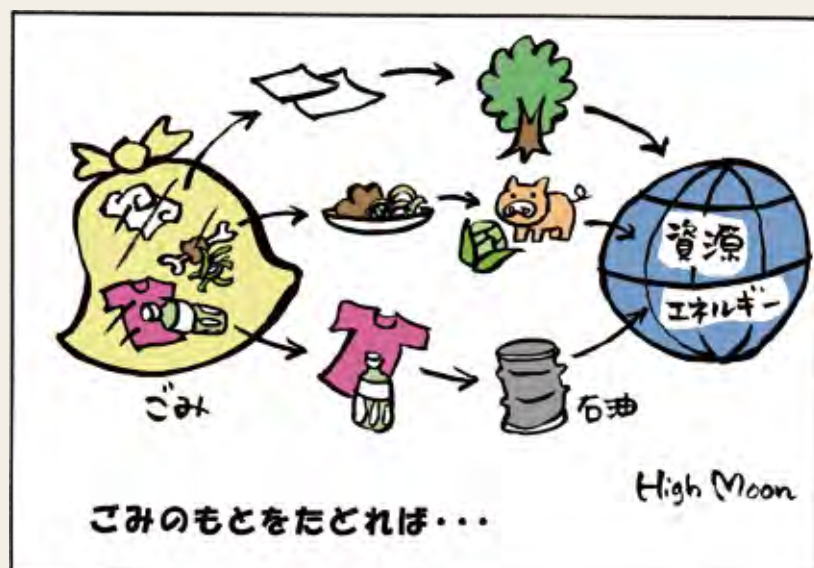
商品や製品は農作物、木材、金属や石油など、すべて地球のかけがえのない資源やエネルギーで作られています。

ごみを減らすということは、つまり、地球の資源・エネルギーをできるだけ大切にしていこうとする活動なのです。

それは、地球温暖化対策や生物多様性の保全など、地球への環境負荷を減らすことにもつながっていきます。

そのためには、商品や製品の大量生産・大量消費を見直すことが重要なキーポイントとなるのです。

ごみを減らし、環境を大切にしまちと暮らしを実現するために、みんなで手を取り合って、取り組んでいきましょう！



作者註：ごみを減らせば、地球の資源・エネルギーを節約できます

会員数

520 団体

NPO・環境団体などの
市民団体、事業者団体、
企業、大学等、で組織
されています。

京都市ごみ減量推進会議とは

ごみを減らし、環境を大切にしたいまちと暮らしの実現を目指す

市民・事業者・行政 のパートナーシップ団体です。

活動

様々な方々と協働し、市内全域を対象に活動を展開しています。会員の市民・事業者・行政で意見を出し合いながら活動を進めています。平成28年に20周年を迎え、リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰「環境大臣賞」を受賞しました。



運営資金

会費や寄付金、京都市からの補助金^{*}などで運営されています。

※ごみ減の活動には、家庭ごみの有料指定袋の収入が活用されています。

取組体制

取組体制と実行委員会の活動内容

会長 高月 紘
京都大学名誉教授・京エコロジーセンター館長

理事会

普及啓発実行委員会	ごみ減量事業化実行委員会	地域活動実行委員会	2R型エコタウン構築事業実行委員会
ごみ減量に関する情報発信や普及啓発活動の企画・実施	家庭や事業所等のごみ減量に関する市内全域を対象とした事業の企画・実施	地域における取組の推進や、新たなごみ減量取組への気付き・学びとなる場の提供	2R（発生抑制、再使用）の考え方を特に重視した、ビジネスのあり方や市民のライフスタイルに対しての取組の実施
【活動】 ・広報活動 ・会報誌 ・ごみ減量啓発イベント ・講座	【活動】 ・再生紙推進事業 ・フリーマーケット ・市民等からの提案によるごみ減量モデル事業 ・秘密書類リサイクル事業	【活動】 ・地域ごみ減活動支援 ・行政区単位でのごみ減量活動支援	【活動】 ・2Rモデル実施 ・2R文化発信 ・リペア・リメイク情報発信

会員数

206 団体

小学校区(元学区を含む)を
基本単位として、
自主的に組織された
団体です。

地域ごみ減量推進会議とは

地域の力 を結集して、ごみ減量活動を
推進している団体です。

エコまちステーションと連携しながら、使用済てんぷら油や古紙等の資源
物回収、フリーマーケット、環境学習会など、その地域の特性に合わせた
ごみ減量やリサイクルなどの取組を実践しています。

京都市ごみ減量推進会議は、この「地域ごみ減量推進会議」と二人
三脚で、地域や家庭でのごみ減量活動を進めています。



声

地域ごみ減量推進会議で活動する
みなさんの声を集めました。



施設見学



分別の大切さを再認識

年に1度行っている施設見学では、エコの
森京都(長岡京市)や古紙リサイクルの現
場を見学して、改めて
分別の大切さを学ぶ
ことができました。

北白川ごみ減量推進会議
会長 山崎陽子さん



イベント



リユースの広がり

竹間学区地域ごみ減で
行ってきた子ども服の
交換会が区全体の
取組となりました。

毎回たくさんの方に参加いただき好評いた
だいています。

竹間学区地域ごみ減量推進会議
会長 川崎元彦さん



古紙回収



地域の輪づくり

ごみ減を立ち上げるきっかけとなった古紙の
回収やコミュニティ回収は、今や生活の中
に定着し、地域の輪づくりに貢献しています。

山科西野地域ごみ減量推進
会議(めぐる会)
会長 村西法子さん



たい肥



地域で循環

定期的に町全体の
清掃を行い、その際に
出た落ち葉を使ってたい
肥をつくり、学校や公園に提供しています。

向島藤ノ木学区地域ごみ減量推進会議
会長 田嶋一憲さん





さまざまな情報を発信!

講座・見学会の開催

開催数

の **180** 回以上



企業向けや子ども向け、市民向けなどの講座やワークショップを開催しています。開催講座にご興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

開催例

企業向け講座

【ごみ減量実践講座】

- 地球環境問題と廃棄物を考える
～国内外の最新動向～

講師：松本 真由美氏(東京大学教養学部附属教養教育高度化機構環境エネルギー科学特別部門客員准教授)

- ごみもリスクもコストも減らす!
～企業のごみ減量・リサイクル～

講師：上川路宏氏(合同会社リバースシステム研究所代表)

【見学会(ミニツアー)訪問先】

大津板紙株式会社本社工場、京都駅ビル開発株式会社、廃棄物中間処理施設、最終処分場 など

子ども・親子向け講座

- ハイムーン先生のまんがを描いてごみをへらそう
- 牛乳パックからはがきを作ろう!
(紙漉きワークショップ)
- 親子向けイベント「愉快なおもちゃ箱」
事業所等から提供された端材を使って遊べる創作の場 など



市民向け講座

- 乾物・保存食でおいしくエコ料理
- できるだけ捨てない整理収納ワークショップ
- 赤ちゃんからのエコロジー など

京のお直し屋さんと リユースショップ情報サイト 「もっぺん」



登録店舗数

約 **210** 店舗



京都市内の修理をしてくれる店と不要品買取をしてくれるリユースショップ(リサイクルショップ)を専用ウェブサイトで紹介しています。修理屋さん情報は、直したい品目や地域別に検索ができます。大事な物に修理・修繕が必要になった時、役立つ情報が満載です。('もっぺん'で検索)

会報誌・ウェブサイトで情報発信

ごみの出ないライフスタイルや、ごみ減量の取組を応援する情報を発信しています。また、ごみ減のウェブサイトでは、他団体からのイベント等をお知らせするコーナーを設けております。



会報誌「ごみ日和」

みなさんの取組をご紹介しますので「こんな活動しているよ!」とお知らせください!

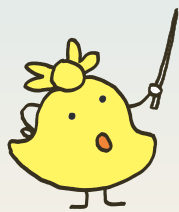
詳しくは事務局まで、お電話またはメールにてお気軽にお問い合わせください。

ごみ減量啓発ブースの出展

市内で開催されるイベントで、ごみ減量のヒントになるようなクイズやエコ知識の発信を行っています。

日常生活の中でのちょっとした工夫やアイデア「これならできそう!」「これならやってみよう!」を見つけにきてください。





環境を大切にしたモノ・コトをお届け！

ごみ減では特に、2Rを推進する活動に力を入れています。ごみの発生そのものを減らす「リデュース」と、いらなくなっても必要な人に使ってもらう「リユース」のための情報提供や仕組みづくりです。新たなアイデアを採り入れ、ごみを減らすためのごみ減の2R活動に、ぜひご参加ください。

2R リーフ茶の普及で、ペットボトルを減らそう



世界各地で脱使い捨てプラスチックの動きが起きています。

2Rの活動はそれを先駆けしたもの。リーフ茶(茶葉から淹れる茶)の普及を通じて、より上質な暮らしの提案と、ごみ減量(ペットボトルの削減=もともとからごみを出さない)を結び付けた活動に取り組んでいます。

京都市内の大学での出張講義や、観光地に出向いた「おいしいお茶の淹れ方講習」などを実施しています。(活動内容は、「リーフ茶の普及で」で検索)

2R フリーマーケット

フリーマーケット開催数

のべ **250** 回以上



「いらなくなったら、いる人へ」を合言葉に、平成11年から市役所前で日用品のリユースを促進してきた市役所前フリマが平成29年度から、岡崎公園へ場所を移して開催。フリーマーケットは、取組開始からのべ250回以上開催。約33,000団体の方に利用いただいています。



めぐレット (トイレット)



学校給食用牛乳の紙パック (200ml)
年間リサイクルパック数 (平成29年度実績)

約 **1300** 万パック



めぐレットは、京都市の子どもたちが集めた「学校給食用牛乳の紙パック」をリサイクルしたトイレットペーパーです。めぐレットを購入することで、子どもたちの取組を、直接応援することができます。めぐレットは市内数店舗で販売しています。

めぐレットを購入して、子どもたちと一緒に循環型社会をつくろう!!



めぐレットは一卷130m

紙質も良いよ!

秘密書類リサイクル

秘密書類年間リサイクル量 (平成29年度実績)

約 **1020** トン



シュレッダーの手間も、搬送の手間も不要!秘密を保持したままで、書類を段ボールにリサイクルできます!年間約1020トンの秘密書類が、焼却を免れて、段ボールに生まれ変わっています。まだ燃やされている紙たちを救うのは、あなたです! (ご利用の際は当会議にご入会をお願いします。)





一緒に活動しよう!

一緒に活動する 会員団体数

会員数

520

団体

市民(市民団体・NPOなど), 事業者(企業・事業者団体・大学など), 行政(京都市)が, 様々な立場からお互いに協力・連携し, ごみの減量に取り組んでいます。情報交換や活動をととして, 仲間をつくり, 新たな活動を展開しています。ごみを減らし, 環境を大切にしまちと暮らしの実現を目指して, 一緒に活動しませんか?

会員になると?



- ごみ減量や環境問題に関する情報, イベント・講座等の案内が届きます
- 会報誌や当ホームページ, イベント出展等で環境の取組を発信できます
- 秘密書類リサイクル事業を利用することができます(詳しくはウェブサイトへ)
- とともに活動する仲間が見つかります

地域ごみ減量推進会議の 活動支援

地域ごみ減量推進会議設立団体数

206

団体

地域ごみ減量推進会議(P.2参照)として活動することで, 京都市ごみ減量推進会議からのごみ減量活動に対する助成金を利用することができます。また, 京都市ごみ減量推進会議が開催する講座や学習会, 施設見学会などに参加することができます。地域ごみ減量推進会議にご興味を持たれた方は, ぜひご連絡ください。



公募による助成で活動を応援

これまでの助成件数(平成18年度から)

116

件 平成29年度の助成額

約300

万円 (平成29年度実績)

京都市内の市民団体やリデュース・リユース・リサイクルの活動に役立てていただくための助成制度を設けています。市民団体や地域の団体のごみ減量活動を応援しています。



◀ ごみを遊びに活用する視点を, ワークショップの実施や冊子で紹介(NPO法人 こどもアート)



▲ 廃材を活用したロケットストーブでの地域づくりや, 生ごみのたい肥化を実践(桃山エコ推進委員会)

会員の声

企業向け講座に毎年参加させていただき、情報収集と環境活動の意識向上につながっています。ワクワクする企画を今後も楽しみにしています。

株式会社ワコール 人事総務本部 総務課 総務課
環境担当 崎川政文さん

講座への参加をきっかけに入会し、いろいろな環境に関する情報を得ています。新たなつながりを大切に、事業にも役立てていきたいです。

京都三菱自動車販売株式会社 管理本部
環境開発部長 吉藤隆さん

秘密書類リサイクル事業の利用や、児童館での子どもワークショップの実施など、法人全体で、環境への意識を高める活動を続けていきたいです。

社会福祉法人健光園 法人事務局
中川敏起さん



ごみを資源にするのも、資源をごみにするのも私たち市民次第。ごみ減の取組から、そんな大切な気付きやヒントを沢山頂いています。

パタゴニア京都店
ストアマネージャー 瀬戸勝弘さん

助成金の活用で使い捨ておむつに頼りすぎない子育ての普及活動を広げることができました。ごみ減は市民の意識を高めてくれる重要な存在です。

おむつなし育児研究所京都サロン
代表 西山由紀さん

ごみ減の取組は、多くの人に気づきの機会をつくっています。京都から、持続可能な社会をつくるための半歩先の取組を一緒に進めましょう。

NPO法人 環境市民
副代表理事 下村委津子さん

ご入会の案内

年会費は10千円です。企業、大学等は20以上でお願いいたします。

市民団体・消費者団体・環境団体等や地域ごみ減量推進会議は10以上でお願いいたします。

入会をご希望される団体は、入会申込書にご記入の上、事務局までご送付ください。

(地域ごみ減量推進会議の活動に参加をご検討の方は事務局までご連絡ください。)



申し込み用紙は「京都市ごみ減量推進会議」のホームページからダウンロードできます!

<http://kyoto-gomigen.jp/> トップページ → ごみ減とは? → 会員のお誘い をご覧ください。

(下記の入会申込書をコピーしてお使いいただくこともできます。)

京都市ごみ減量推進会議 入会申込書

京都市ごみ減量推進会議 入会申込書		申込日	年	月	日
団体又は法人の 名称及び代表者名	(印)	所属・担当者名			
住所・所在地	〒				
TEL/FAX	e-mail				
組織の活動内容・ 事業内容					
現在のごみ減量や リサイクルの活動と 今後取り組みたい活動					

入会が承認されましたら、入会申込書の内容を会員名簿に掲載いたしますので、その旨ご了承ください。特に不都合がある場合は、事務局までご相談ください。

お問い合わせ・
申込書送付先

京都市ごみ減量推進会議 事務局 <http://kyoto-gomigen.jp/>

TEL:075-647-3444 FAX:075-641-2971 e-mail: gomigen@kyoto-gomigen.jp

〒612-0031 京都市伏見区深草池ノ内町13番地 京エコロジーセンター活動支援室内